

一月議会

一般質問

中小企業振興対策急げ

広田議員①不況にあえぐ中小企業に対し、現在の融資制度の貸付限度額の増額と貸付期間の延長、またできれば一部利子補給などを再検討して商工業者の要求にこたえるべきだと思うがどうか。

市長①中小企業振興のための融資制度は約四種類はあるが市はこの制度の資金として総額一億二千四百万円ほど金融機関預託し、さらに金融機関が二倍から三倍の融資資金アラスして運用しているので、ご指摘の限度額、期間延長の問題は現在の経済規模から考へ、研究すべきことだと存じます。利子補給の点は比較的低利で融資されてるので、更にこれを若干引き下げる方がよいではと考えている。融資が楽に受けられるよう県の信用保証協会に出損金を出している。

広田議員②中小企業振興対策資金は二百万円限度の償還期限一年以内となっているが、ほかの資金は三年以内となっている。資金は三年以内となっている。商工業者の安定を図るといふ目的から、償還期限を三年から五年にしてはと考えるがどうか。

市長②中小企業振興対策資金は具体的には運転資金で、いずれの金融機関でも三年、五年といふ長い期間のものはないと考えている。振興対策資金の場合には借りる方も安易な気持になつてしまふのでやはり一年以内償還に頼りたいと考える。止むを得ない時は今一度銀行に相談してほしいと考える。

広田議員③勝山市職員の記章に関する規程が守られていないように見受けられ、定められた

条例規則も守られなければ死文と同じだ。このことについての見解はどうか。

総務課長③人事課長の所管ですがお答えします。職員の記章ですが、市内ではネームをつけているのでこと足りると考えているが、序外で背広につけるのが趣旨だと考へてある。今後着用を励行するようにははつていい必要があると存じます。

人事課長④事務服、作業服の場合記章入りの名札を着用させている。他の服装の場合も名札をつけよう申している。序外における平服着用の場合、ご指摘の点厳重に注意していく。

広田議員⑤職員は全体の奉仕者としての自覚をもつよう研修の場を年に何回かもつことを要望する。

広田議員⑥建設工事等の発注時期について、例年十一月以降の天候等悪い期間に向つて発注が相当多いようだが、関係地区民が迷惑しているという批判がござる。予算分配はどのようないいと目標をおいている。も

ち三件は完納、残る四件も近く納税の予定です。またこれらの目標をたててあると思うが、冬期間において何か設計段階とか

広田議員⑦一月から二月まで百三十件は十月以降でご指摘のとおりです。そこで工事がスムーズにす

べて収支を三月末までには出したいたいと考えています。昨年は滞納者をリストア

ップして督促し、最も悪質者七人に対し、差し押さえを実施しました。

上にもつていただきたいと考えています。今年は滞納者をリストアすつぱり包み込んで、模索の時

代に入したといわねばなりません。本市の基幹産業である織

織も依然先行きが暗く、他の産業も同じであり、一方商店街も

しかりである。消費の中心であ

る労働者の実態からして購売力

は伸びず商店街は相当の落ち込

みとなっている。特に大型店舗

の進出は驚異で、今春開店する

予定の店舗に入店する場合、現

店を開めるということも聞いて

いたし、三月末までに六〇%以

の遅れなども原因で発注が遅れてしまうこともある。十二月ま

でに徴収しましたが、更に努力

をして、検討を進めていたい

と考へている。

藤田議員⑧行政サービスは地

方自治体の多くのできない

任務で、住民からの苦情、要望

も日ごとに出てくると思うが、

と考えている。

この住民の声を行政はどう受付

けられ、どう処理されるのか、

窓口、ルートを尋ねたい。

在のところ総務課生活環境係を

窓口に小さい問題についてはす

く協議いたし三月定期例会に提案

したいと目標をおいている。も

し解決をみない場合にも確実な

見通しを三月末までには出した

いたいと考えている。

藤田議員⑨老人医療の無料化

は福祉国家としてふさわしい制

度だが、これがため国庫財政が

非常に圧迫をうけ、全国的にも

論議がされるようになっている

が、地方財政を守るために抜本

的な法の改正と国費負担の増額

等について強く希望すべきだと

思ふが所信を問う。

市長⑩勝山市の場合は、被保険者数のうち占める老人の割合は

は九・五%で、全国平均は六%

から七%で比較的本市の場合高

いのが事実である。この制度が

できてから国庫財政を圧迫して

いることも現実です。国の補助

金を増額してもらおうよ

うに、これまで以上に運動を続

けていただきたい。

建設課長⑪発注時期が秋口に

かかる事実はご指摘のとおりで

しかし、考え方、指導している

点では、一応九月までに当初予

定された工程を進捗させる

が、今後はどのように処置する

のか。

市長⑫業界の不況によって滞

納者の数が増えていることは事

実だ。税務課の徴収係を若干増

設してこれら滞納整理に当たつ

てもらっている。一度に納入で

きない人が多いので、この方々

には分納の申告をしてもいい、

早い機会に完納していくだけ

である。個別折衝を行っている現状で

ある。

税務課長⑬相当の累積滞納額

があるといつこまことに申し

あがらぬものが現状で大變無理

であるが、やはり地域住民の理

由の経費が必要で二か年の継続

事業で建設していくといま

すが諸条件をよく検討して新用

地の確保に努力したいと考えて

いる。

藤田議員⑭水路改良改修に対

する投資額をもと増やして水

路を早急に改良するよう大胆な

政治姿勢が必要ではないか。

市長⑮予算は増やしているも

の要望に応じきれないのが実

情、当分は基幹排水路を中心と

して努力したい。

藤田議員⑯水路改修は四十

二年度の工事についても既に

目標をたててあると思うが、冬

季において何か設計段階とか

おり、九月までに約百五十件

百三十件は十月以降でご指摘の

とおりです。そこで工事がスムーズにす

べて受付けて、苦情処理カード

をつくり、カードに基づいて、

現場に出向き、地域の方と話し

合い、公書問題については発生

する方法で、苦情処理には助役

市長⑰この段階で決裁している

と五十二年度の継続事業で行い

たが、後悔が激しく、二年一度は

抜本的な改良をはかりたい。大

修繕を行ってきたのであるが、

消費社会の変化により、ゴミの

運搬を早急に改良するよう大胆な

政策姿勢が必要ではないか。

市長⑱予算は増やしているも

の要望に応じきれないのが実

情、当分は基幹排水路を中心と

して努力したい。

藤田議員⑲水路改修は四十

二年度の工事についても既に

目標をたててあると思うが、冬

季において何か設計段階とか

おり、九月までに約百五十件

百三十件は十月以降でご指摘の

とおりです。そこで工事がスムーズにす

べて受付けて、苦情処理カード

をつくり、カードに基づいて、

現場に出向き、地域の方と話し

合い、公書問題については発生

する方法で、苦情処理には助役

市長⑲この段階で決裁している

と五十二年度の継続事業で行い

たが、後悔が激しく、二年一度は

抜本的な改良をはかりたい。大

修繕を行ってきたのであるが、

消費社会の変化により、ゴミの

運搬を早急に改良するよう大胆な

政策姿勢が必要ではないか。

市長⑳予算は増やしているも

の要望に応じきれないのが実

情、当分は基幹排水路を中心と

して努力したい。

藤田議員⑳水路改修は四十

二年度の工事についても既に

目標をたててあると思うが、冬

季において何か設計段階とか

おり、九月までに約百五十件

百三十件は十月以降でご指摘の

とおりです。そこで工事がスムーズにす

べて受付けて、苦情処理カード

をつくり、カードに基づいて、

現場に出向き、地域の方と話し

合い、公書問題については発生

する方法で、苦情処理には助役

市長㉑この段階で決裁している

と五十二年度の継続事業で行い

たが、後悔が激しく、二年一度は

抜本的な改良をはかりたい。大

修繕を行ってきたのであるが、

消費社会の変化により、ゴミの

運搬を早急に改良するよう大胆な

政策姿勢が必要ではないか。

市長㉒予算は増やしているも

の要望に応じきれないのが実

情、当分は基幹排水路を中心と

して努力したい。

藤田議員㉒水路改修は四十

二年度の工事についても既に

目標をたててあると思うが、冬

季において何か設計段階とか

おり、九月までに約百五十件

百三十件は十月以降でご指摘の

とおりです。そこで工事がスムーズにす

べて受付けて、苦情処理カード

をつくり、カードに基づいて、

現場に出向き、地域の方と話し

合い、公書問題については発生

する方法で、苦情処理には助役

市長㉓この段階で決裁している

と五十二年度の継続事業で行い

たが、後悔が激しく、二年一度は

抜本的な改良をはかりたい。大

修繕を行ってきたのであるが、

消費社会の変化により、ゴミの

運搬を早急に改良するよう大胆な

政策姿勢が必要ではないか。

市長㉔この段階で決裁している

と五十二年度の継続事業で行い

たが、後悔が激しく、二年一度は

抜本的な改良をはかりたい。大

修繕を行ってきたのであるが、

消費社会の変化により、ゴミの

運搬を早急に改良するよう大胆な

政策姿勢が必要ではないか。

市長㉕この段階で決裁している

と五十二年度の継続事業で行い

たが、後悔が激しく、二年一度は

抜本的な改良をはかりたい。大

修繕を行ってきたのであるが、

消費社会の変化により、ゴミの

運搬を早

